

## 2年 保健体育科実践事例

1. 教科	保健体育科
2. 学年	第2学年
3. 単元	球技「サッカー」(ゴール型)
4. 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールを理解し、守ることによって、安全に留意して、練習やゲームができるようにする。</li> <li>○味方や相手を尊重し、互いに協力して練習やゲームができるとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。</li> <li>○1年生と2年生前半でドリブル、2年生後半と3年生でパスの練習に力を入れ、転がっているボールをただ蹴るのではなく狙いを持ってプレーできることをめざす。</li> <li>○個人での技術の向上を感じるにより、達成感や満足感を味わい、チームでプレーすることの楽しさや喜びを得られるようにする。</li> </ul>
5. 学習指導要領との関連(指導事項や内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チームの課題や自己の課題をもって運動を行うため、それぞれの課題を明確にし、意識しながら練習に取り組む。</li> <li>○作戦を生かした攻防を展開してゲームができるよう、サッカーの特性を理解し、実行できる技術を身に付ける。</li> </ul>
6. 重視した言語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○こちらから言語活動をさせるのではなく、生徒が考え、自発的に自然にコミュニケーションが図れることを目標に授業展開を行う。</li> <li>○運動時間の確保を念頭に置き、動きを止めた状態ではなく、運動をしている中で積極的に言語活動を行う。話し合いや授業の振り返りの時間は最後に設け、感じたこと、習ったことをまとめられるようにする。</li> </ul>

### 7. 指導にあたって

サッカーは、2チームがフィールド内を自由に動き回ってボールを奪い合い、ドリブルやパスを使って相手の守りをかわして得点を競い合う楽しいスポーツである。特性としては他の競技に比べ得点が入りにくく、それだけに、得点や失点を防ぐことの喜びが大きいスポーツである。これらを踏まえ、3年計画で授業を進めていき、以下の3点を意識しながら指導にあたる。

#### (1) 個人技の習得

サッカーは、ボールコントロールをはじめほとんどの技術を、日常生活でよく使う手ではなく足で行うスポーツでとても難しく、その分、経験者以外は技術に個人差が少ない。練習の中にボールタッチやリフティングを取り入れ、体のコーディネーションも含めてスキルアップをめざす。

(2) 狙いをもってプレーする。

初心者がサッカーのゲームをした時によくおこる現象は、転がってきたボールをただ意図もなく蹴ってしまうということである。この学年もサッカー部員が少なく、ほとんどが初心者のため、自らボールを運ぶドリブルや、しっかりと味方を確認してボールをつなぐパスがゲームの中で行えることをめざす。

(3) 勝利をめざして協力する。

いくら技術があっても、わがままなプレーはチームにとって迷惑になってしまう。サッカーはうまい選手をそろえたからといって勝てる競技ではなく、味方選手のためにチームのために考えてプレーできることが重要となってくる。今回の授業でも攻撃専門、守備専門と役割が分かれてしまうのではなく、チームが勝つためには自分が何をしなければならないかを考えてプレーできるよう呼びかける。

サッカーにおいて、他にも、シュートやディフェンスの仕方、オフ・ザ・ボールの動き方など習得しなければならない技術や戦術がたくさんあるが、生徒たちが混乱しないように、上記した事が3年生でできることを目標として、ポイントを絞って取り組んでいきたいと考える。最終的に授業を振り返り、話し合いができること。自分の感じたことをまとめられるそのヒントとなるようなものを授業の中で与えること。また私が体育言語と考えるアイコンタクトやボディーラングージにも触れながら授業展開をしていきたい。

## 8. 学習指導計画（全10時間） ●言語活動充実のポイント

次	時	学習活動	指導上の留意点
I	1	1. 安全面の確認、授業の展開の説明 2. ルールの復習、説明 3. ゴールの設置の仕方 4. ボールタッチ、リフティングの確認	○安全面の重要性を十分に説明する。 ○2年生の授業のねらいを伝える。 ○ゴールの持ち方や置き方など事故につながらないように指導する。 ○1年時に行ったウォーミングアップのボールタッチとリフティングのポイントを再度確認する。
			評価の観点 【運動への関心・意欲・態度】 ・こちら話を理解し、行動に移そうとしている。
II	2 3 本時 4	1. ボールタッチ 2. リフティング（ワンバウンドまで認める） ●パートナーに注意点を言ってもらいながらどのようにしたらうまくいくのか考える。	○ボールを正確に素早く触るよう呼びかける。 ○あきらめて、すぐに手で持ってしまうのではなく、できるだけ続けられるように言葉がけをする。

	<p>3. ドリブルゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プレー中の生徒にコーチングや応援をする。</li> </ul> <p>4. ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●味方とコミュニケーションを図りながら取り組む。</li> </ul>	<p>○ドリブルのみでパスのないゲームなので絶対にボールを蹴らないように、指導する。</p> <p>○ゲームの中で練習での成果が出せるよう呼びかける。</p>
5	<p>1. ボールタッチ</p> <p>2. リフティング（ノーバウンド）</p> <p>3. ミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●チームで課題と改善点を話し合わせ、今日のゲームに生かす。</li> </ul> <p>4. ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●味方とコミュニケーションを図りながら取り組む。</li> </ul>	<p>○ボールを大きく動かすよう言葉がけをする。</p> <p>○ノーバウンドは難しく、できる回数が少なくて当たり前なことを説明し、その上でチャレンジさせる。</p> <p>○チームや個人の特徴や改善点にポイントを絞り、話し合いを進める。</p> <p>○ミーティングで話したことを意識して取り組むよう指導する。</p>
6	<p>1. 2人組でリフティング（ワンバウンドまで認める）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2人で声を掛け合いながら回数を続けられるようにする。</li> </ul> <p>2. インサイドキック</p> <p>3. インステップキック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●キックの見本を見て、どんなことに注意しているのか考え発言する。</li> </ul> <p>4. ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●味方とコミュニケーションを図りながら取り組む。</li> </ul>	<p>○相手の方向へきちんとコントロールできるように意識する。</p> <p>○軸足の向きやミートポイントなどを確認し、良いフォームで蹴れるように指導する。</p> <p>○今日練習で行ったキックをゲームの中で使えるよう言葉がけをする。</p>

	<p>7 8</p>	<p>1. ボールタッチ</p> <p>2. 3人組でリフティング(ワンバウンドまで認める)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉で今からパスを出すという意思表示をする。</li> </ul> <p>3. パス練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パスを出す、受ける際に言葉やしぐさをつけ、味方にわかりやすいようにプレーする。</li> </ul> <p>4. ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●味方とコミュニケーションを図りながら取り組む。</li> </ul>	<p>○素早く大きくボールを動かせるように呼びかける。</p> <p>○パスを出す人の名前を呼ぶように伝える。</p> <p>○力いっぱい蹴るのではなく、相手が受け取りやすいボールを蹴れるように呼びかける。</p> <p>○つま先で蹴るのではなく、インサイドキックやインステップキックの回数が多くなるように呼びかける。</p>
			<p>評価の観点</p> <p><b>【運動への関心・意欲・態度】</b> 積極的に練習に取り組み、ゲームではボールに関わろうとしているか。</p> <p><b>【運動の技能】</b> ただ蹴るのではなくドリブルやパスを使い相手をかかわせているか。</p> <p><b>【運動についての思考・判断】</b> 相手を見て効果的にドリブルやパスができていますか。</p>
<p>III</p>	<p>9 10</p>	<p>1. 個人技術のテスト(ボールタッチ、リフティング、キック)</p> <p>2. サッカーの授業を振り返って</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●・ドリブルのポイント</li> <li>・キックのポイント</li> <li>・個人でよかったところ 悪かったところ</li> <li>・チームでよかったところ、悪かったところを思い返し、プリントにまとめる。</li> </ul>	<p>○特定の秒数内で何回できるのか。</p> <p>○テストが公正に行われるよう配慮する。</p> <p>○授業で習ったこと、感じたことをまとめ、3年生の授業に生かせるよう指導する。</p>
			<p>評価の観点</p> <p><b>【運動の技能】</b> 個人技術のテストでボールタッチやリフティングの回数、キックのフォームができていますか。</p> <p><b>【運動についての思考・判断】</b> サッカーの授業を終えて個人やチームについての感想、ドリブルやパスのポイントをまとめることができる。</p>

9. 本時の展開 (3 / 10)

学習活動	指導上の留意点
<p>(本時の目標) 1年生の時から取り組んできたドリブルやリフティングを中心とした個人技術の習得と、ドリブルゲームでの練習をゲームの中で生かせるように取り組む。またチームプレーに必要なコミュニケーションをとれるよう意識する。</p>	
<p>1. 集合・整列</p> <p>2. 準備(補強)運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニング トラック3周</li> <li>・腕立て伏せ 20回</li> <li>・上体起こし 20回</li> <li>・馬跳び 10回</li> <li>・倒立 10秒</li> <li>・柔軟 各10秒</li> </ul> <p>●倒立はパートナーが倒れないように責任をもって補助する。</p> <p>3. 集合・あいさつ・点呼・本時の説明 (10分)</p> <p>4. サッカー用ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールタッチ (20秒×4種類)</li> </ul> <p>●パートナーは回数を伝え、励ましの声掛けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リフティング (1分間でワンバウンドまでつくのは認める)</li> </ul> <p>●リフティングのポイントをパートナーが確認し伝える。</p> <p>●毎時間回数を記録し、授業の振り返りの時に技術の向上を確認する。 (10分)</p> <p>5. ドリブルゲーム</p> <p>●プレーしている生徒に対してコーチングや応援をする。 (10分)</p>	<p>○素早く静かに行動できるよう指導する。</p> <p>○安全に配慮し、怪我が起こらないようにさせる。</p> <p>○体を内面から温めるよう、掛け声を大きく出すよう指導する。</p> <p>○集合整列を素早く静かにできるよう指導する。</p> <p>○あいさつの声を大きく出すよう呼びかける。</p> <p>○出欠の確認と健康観察を行う。</p> <p>○本時の流れを説明する。</p> <p>○技術の習得と、体を素早く正確に動かせるコーディネーションを含めたトレーニングであることを説明する。</p> <p>○2人組でパートナーは練習の中での最高回数を数えるように説明する。</p> <p>○簡単に手を使わずに一回でも多くできるように呼びかける。</p> <p>○ルールと趣旨を説明し、目的を明確にする。</p> <p>○ボールを運ぶ術はドリブルしかないと強調し、絶対にボールを蹴らないように説明する。</p>

<p>6. ハーフコートゲーム（声を出さずに）</p> <p>●声での連携が取れないことにより、アイコンタクトやボディーランゲージを使ったコミュニケーションの大切さを感じる。</p>	<p>○ルールと趣旨を説明し、目的を明確にする。</p> <p>○お互いファールが少なく怪我が起こらないように呼びかける。</p> <p>○一切、言葉を使わないようにコートを取りながら呼びかける。</p>
<p>7. ハーフコートゲーム（積極的に声を出して）</p> <p>●6でのゲームを生かして今度は積極的に声で攻撃や守備の時に必要なコミュニケーションを図る。</p> <p style="text-align: right;">（10分）</p>	<p>○多少、大袈裟でもよいので積極的に言葉かけができるように呼びかける。</p> <p>○言葉と合わせてボディーランゲージやアイコンタクトも意識するように伝える。</p>
<p>8. 片付け・集合・整列・健康観察</p> <p>9. 本時の反省（ドリブルゲームの記録） 次時の確認</p>	<p>○素早く協力して片付けをし、集合・整列するよう呼びかける。</p> <p>○ケガや体調不良がないか確認する。</p> <p>○本時の感想を伝え、次回の授業に生かせるように話をする。</p> <p>○大きな声を出すように指導する。</p>
<p>10. あいさつ</p> <p style="text-align: right;">（10分）</p>	<p>評価の観点</p> <p><b>【運動への関心・意欲・態度】</b> 積極的に練習に取り組み、ゲームではボールに関わろうとしているか。</p> <p><b>【運動の技能】</b> ゲームの中でドリブルが効果的に使えている。</p>